

# 令和5年度 (2023年度)

児童発達支援 保護者評価

児童発達支援 事業所評価

放課後等デイサービス 保護者評価

放課後等デイサービス 事業所評価

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2024年9月1日

事業所名: 児童発達支援 金沢ゆとり学園

対象人数(保護者)7人 回答者数4人 回収 57.1%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	1	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4		
	⑥	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	4		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4		
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	3	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	4		
送迎 対応	⑲	送迎は正しく行われているか	4		
リハ ビリ	⑳	リハビリ内容について満足しているか	3	1	
	㉑	リハビリ内容について十分な説明はあるか	3	1	
	㉒	今後やってほしいリハビリ内容はあるか	4		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
金沢ゆとり学園		令和6年 9月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別での面談を行い、意見の把握に努めている。また、施設内のミーティングを実施し業務改善についての検討をしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、外部評価について法人にて検討中
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年1回は法人内の研修を実施している。また、入職時や希望に応じて外部の研修への参加も積極的に進めるよう研修情報を共有している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○			
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種が集まり話し合いをしながら作成している。	
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保育士・児童指導員が中心となりミーティングをひらき活動が固定化されないよう計画している。また児童の状況に応じて遊び方を考え、選択できるよう準備している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		支援計画を基にその日の体調や表情に応じて個別や集団を選択できるよう努めている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		状況に応じて密に専門職員と関係機関が連携を図っている(法人内に2名の医療的ケア児等コーディネーターが在籍している)。スモールステップで確実に居宅訪問型児童発達から通所や児童発達支援センター、こども園など地域へ繋ぐため各事業所や関係機関との情報共有を大切にしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前の移行の際は書面での情報提供だけでなく訪問への同行や施設に実際にみに来ていただいている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		新型コロナウイルスの流行や感染症拡大の心配から実施できていない。児童の体面をみながら開けようとする機会を提供を今後していきたい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族に向けた研修やペアレントトレーニングは実施していないが情報共有できるものについては活動記録やSNSを用いてお伝えしている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時と内容の変更があった場合に書面と口頭にて実施している。ご不明な点があればいつでもご説明させていただきます。
	36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者交流会やイベント実施時にご家族同士や先輩家族と話せる機会、専門職員へ相談できる機会を設けている。今後も親子交流会なども含め定期的開催ができるよう内容や時期などを検討していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。		○		感染症拡大の心配から現状実施できていない。今後、地域の方とも交流できる機会を設けていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル類は定期的に委員会に見直しを行い、施設内掲示にて公開している。 ※今後、HPにも載せる予定	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		『安全計画』にきだめた避難訓練を定期的実施している。実際の動きだけでなく職員間の話し合いも実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前に看護師が聞き取りを行い、留意点等を確認している。内服の変更がある場合にはお薬手帳などで確認を行い、看護師から施設内職員に副作用なども含め情報共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーがある児童に対しては「診療情報提供書」ではなく「医師指示書」にて情報や対応を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		『安全計画』を基に避難訓練の計画をたて実施している。お散歩コースの見回り(危険物がないか、道路環境など)や施設内の設備点検を月毎に実施している。安全計画の内容変更した際は更新毎にHUGの活動記録にて情報を公開している。 ※今後、HPにも公開予定	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		再発防止にむけた取り組みについては多職種が参加し検討している。新入職員にも過去事例を共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員を対象に年2回程度の研修を実施している。また市や県の虐待防止研修へ参加を行い、新しい情報を把握できるよう努めている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		個別支援書の説明時に『身体拘束の同意書』についても説明を行っている。定期的に見直しを解除や時間短縮にむけて動いている。		

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2024年9月1日

事業所名：放課後等デイサービス 金沢ゆとり学園

対象人数(保護者)15人 回答者数 10人 回収 66.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	10		
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2	
適切 な 支 援 の 提 供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10		
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10		
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	6	3
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10		
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10		
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10		
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10		
⑭ 個人情報に十分注意しているか	10			
非 常 時 等 の 対 応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1	
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1	
満 足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	10		
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	10		
送 迎 対 応	⑲ 送迎は正しく行われているか	10		
リ ハ ビ リ	⑳ リハビリ内容に満足しているか	10		
	㉑ リハビリ内容について十分な説明はあるか	10		
	㉒ 今後やってほしいリハビリはあるか	6	1	3

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
金沢ゆとり学園		令和6年 9月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別での面談を行い、意見の把握に努めている。また、施設内のミーティングを実施し業務改善についての検討をしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、外部評価について法人にて検討中
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年1回は法人内の研修を実施している。また、入職時や希望に応じて外部の研修への参加も積極的に進めるよう研修情報を共有している。	
適切 な 支 援 の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種が集まり話し合いをしながら作成をしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保育士・児童指導員が中心となりミーティングをひらき活動が固定化されないよう計画している。また児童の状況に応じて遊び方を考え、選択できるよう準備している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		支援計画を基にその日の体調や表情に応じて個別や集団を選択できるよう努めている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		状況に応じて密に専門職員と関係機関と連携を図っている(法人内に2名の医療的ケア児等コーディネーターが在籍している)。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校との情報共有は対面(担任の先生や部主事の先生、校長先生など)や書面に抜けがないよう努めている。また、入院などがある場合には病院と学校看護師を繋ぐなどして情報漏れがないよう努めている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		就学前の移行の際は書面での情報提供だけでなく訪問への同行や施設に実際にみえていただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			新型コロナウイルスの流行や感染症拡大の心配から実施できていない。児童の体調面をみながら関わりがもてる機会の提供を今後していきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人内には協議会に参加している職員がおり、情報をタイムリーに共有できるよう努めている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご家族に向けた研修やペアレントトレーニングは実施していないが情報共有できるものについては活動記録やSNSを用いてお伝えしている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時と内容の変更があった場合に書面と口頭にて実施している。ご不明な点があればいつでもご説明させていただきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者交流会やイベント実施時にご家族同士や先輩家族と話せる機会、専門職員へ相談できる機会を設けている。今後もプチ交流会なども含め定期的開催ができるよう内容や時期などを検討していく。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		感染症拡大の心配から現状実施できていない。今後、地域の方とも交流できる機会を設けていきます。
非常時等の対応	46	重大事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル類は定期的に委員会にて見直しを行い、施設内掲示にて公開している。 ※今後、HPにも載せる予定	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		『安全計画』にさだめた避難訓練を定期的実施している。実際の動きだけでなく職員間の話し合いも実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前に看護師が聞き取りを行い、留意点等を確認している。内服の変更がある場合にはお薬手帳などで確認を行い、看護師から施設内職員に副作用なども含め情報共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーがある児童に対しては「診療情報提供書」ではなく「医師指示書」にて情報や対応を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		『安全計画』を基に避難訓練の計画をたて実施している。お散歩コースの見回り(危険物がないか、道路環境など)や施設内の設備点検を月毎に実施している。安全計画の内容変更した際は更新毎にHUGの活動記録にて情報を公開している。 ※今後、HPにも公開予定	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		再発防止にむけた取り組みについては多職種が参加し検討している。新入職員にも過去事例を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員を対象に年2回程度の研修を実施している。また市や県の虐待防止研修へ参加を行い、新しい情報を把握できるよう努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		個別支援書の説明時に『身体拘束の同意書』についても説明を行っている。定期的に見直しをか解除や時間短縮にむけて動いている。		

# 令和4年度 (2022年度)

児童発達支援 保護者評価

児童発達支援 事業所評価

放課後等デイサービス 保護者評価

放課後等デイサービス 事業所評価

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年9月8日

事業所名 : 金沢ゆとり学園

保護者等数(児童数)12人

回収数 5人

割合

41%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	0	0	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	0	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	5	0	0	
	5 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	5	0	0	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	2	
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	
保護者 への 説明等	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達や課題について共通理解ができているか	5	0	0	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	0	0	
	10 父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	0	0	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	
保護者 への 説	14 個人情報に十分注意しているか	5	0	0	
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	0	0	

説明等	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	
非常時等の対応	18	事業所の支援に満足しているか	5	0	0	
	19	送迎は正しく行われているか	5	0	0	
満足度	20	リハビリは役にたっているか	5	0	0	
	21	今後やってほしいリハビリ内容はあるか	3	0	2	

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 9月 8日

事業所名 金沢ゆとり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、検討中です
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				

適切な支援の提供	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		新型コロナウイルス感染症は5類になりましたが、石川県の感染状況を今後も確認しながら安全に安心した環境で交流の場をもつことができるよう慎重にすすめていきます。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	関係機関や保護者との連携	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
保護者への説明責任等		34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
		35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		
		36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
		37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
		38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		

保護者への説明責任等	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診療情報提供書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年9月6日

事業所名: 金沢ゆとり学園

保護者等数(児童数)17

回収数16

割合 94%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	0	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	2	0	4	冬場手足が冷たくなって帰ってくるので部屋が少し寒いです。	お子様の状態に合わせ温度管理や手足の保温を行います
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	1	0	0	利用してから間もなく本人の状態も変わりやすいので相談しながら計画の説明をお願いしたい	お子様の状態・ニーズに沿った計画をたて説明を行っていききたいと思います。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	1	0	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	0	4	11	コロナが終息したらクリスマス会のようなイベントで	感染症に注意しながら交流に機会を設けていきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	0	0	0	今後も定期的に面談をしていきたい	定期的な面談に加えお困りなことがあればその都度相談を行います。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	1	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5	1	4	コロナの影響で難しいと思います。	感染症に注意しながら交流に機会を設けていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	0	4	苦情を言ったことがないのでわかりません	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	0	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	0	0	1	スタッフの紹介の会報を出して欲しい	hugシステムの活動記録にて紹介をしていきたいと思ます。もうしばらくお待ちください。
	14 個人情報に十分注意しているか	16	0	0	0		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	4	0	4	「防犯マニュアル」に関してはわかりません	今後、契約の際、詳しく説明を行いたいと思ます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	0	9	訓練をしているのかわかりません	月に1回年間予定表に沿って訓練を行っています。利用児全員が訓練を行えるよう調整していきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	0	2		
	18 事業所の支援に満足しているか	16	0	0	0	いつも楽しい活動をしてくださってありがとうございます。	

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表:令和 5年 9月 8日

事業所名 金沢ゆとり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		検討中です
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルス感染症は5類になりましたが、石川県の感染状況を今後も確認しながら安全に安心した環境で交流の場をもつことができるよう慎重にすすめていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診療情報提供書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

# 令和3年度 (2021年度)

児童発達支援 保護者評価

児童発達支援 事業所評価

放課後等デイサービス 保護者評価

放課後等デイサービス 事業所評価

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：令和4年9月

事業所名：児童発達支援 金沢ゆとり学園

対象人数(保護者)16人 回答者数7人 回収43.8%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	7			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	1	わかりません。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	7			
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	2		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1		
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	7			
送迎 対応	⑲	送迎は正しく行われているか	6	1		
リハ ビリ	⑳	リハビリは役に立っているか	7			
	㉑	今後やってほしいリハビリはあるか	3	3	1	首と腰が座るようになってほしい気持ちがあるので首と腰が座るようなリハビリをやってもらえたら嬉しいです。嚙下の練習

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年9月1日

事業所名 金沢ゆとり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		こまめに片付けを行いスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		検討中です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
適切な	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			

支援の提供	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		今後は、交流の機会を増やして行きたいとおもいます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		今後は、交流の機会を増やし積極的に参加していこうと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		
	関係機関や保護者との連携	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
38		個人情報の取扱いに十分注意している	○		
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		
保護者への説明責任等					

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 令和4年9月

事業所名: 放課後等デイサービス 金沢ゆとり学園

対象人数(保護者)16人 回答者数6人 回収37.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1		コロナ禍なので、通常のスペースでは感染対策が難しい部分があると思います。事業所が医療的ケア児のための感染予防対策がしっかりとれるよう、国や市には柔軟な対応をしていただきたいと願います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	6			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	コロナ禍なので。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	6			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	6			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	6			いつも心ある楽しい活動をありがとうございます。医療的ケアがありますが、安心して通わせて頂き感謝しております。
送迎対応	⑲	送迎は正しく行われているか	6			
リハビリ	⑳	リハビリは役に立っているか	6			
	㉑	今後やってほしいリハビリはあるか	3	2	1	今まで同様身体をほぐしてもらえれば助かります。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年9月

事業所名 金沢ゆとり学園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	○				
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			○		検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○				
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用し ている	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせる放課後等デイサービス 計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認している	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	○				
関係 機関 や保 護者 との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさわ しい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	○				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	○				

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			今後は、交流の機会を増やして行きたいとおもいます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				

# 令和2年度 (2020年度)

児童発達支援 保護者評価

児童発達支援 事業所評価

放課後等デイサービス 保護者評価

放課後等デイサービス 事業所評価

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 金沢ゆとり学園

対象人数(保護者)13人 回答者数 5人 回収 38.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	2	1
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		5	
適切 な支 援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	5		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	1	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	2
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	1	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	2
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	5		
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	4	
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	5		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	5		
送 迎 対 応	⑲	送迎は正しく行われているか	5		
リ ハ ビ リ	⑳	リハビリは役に立っているか	5		
	㉑	今後やってほしいリハビリはあるか	2	2	1

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年9月1日

事業所名 金沢ゆとり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、検討中
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				

18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
----	---	---	--	--	--

適切な支援の提供	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍で自粛中	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○	○			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
		35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				

38 個人情報の取扱いに十分注意している

○

保護者への説明責任等	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 金沢ゆとり学園

対象人数(保護者)17人 回答者数 8人 回収 47.1%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3	
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	8		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	1	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	2
保護者 への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	1
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	8		
非常時 等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	4	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	5	1
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	8		
送迎 対応	⑲	送迎は正しく行われているか	8		
リハビ リ	⑳	リハビリは役に立っているか	8		
	㉑	今後やってほしいリハビリはあるか	4	3	1

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 9月 1日

事業所名 金沢ゆとり学園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	○				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	○		○		現在、検討中です
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○				
適切な支 援の提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用し ている	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせる放課後等デイサービス 計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認している	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	○				
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	○				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	○				

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			コロナ禍のため自粛中。石川県の感染状況などを確認し交流の場を設けていきたいと考えています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		積極的に参加していこうと思います
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				

# 令和 1 年度 (2019 年度)

児童発達支援 保護者評価

児童発達支援 事業所評価

放課後等デイサービス 保護者評価

放課後等デイサービス 事業所評価

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年9月1日

事業所名: 金沢ゆとり学園

保護者等数(児童数)10

回収数8

割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2	0	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	0		
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	7	0	0	1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	1		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	7	0	0	1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	0	2	5		外出先に児童が集まる場所を選び交流する機会を作りたいと思います。
保護者への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	1	0	1		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	6	0	0	2		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	3	1	1	3		面談時等に詳しく話をしていきたいと思います。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7	1	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	2	1	0		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	1	5		

保護者への説明等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	1	0	0	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	1	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	0	0	1	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6	0	0	1	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	0	1	0	6	今後、契約の際、詳しく説明を行いたいと思います。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	0	6	月に1回年間予定表に沿って訓練を行っています。利用児全員が訓練を行えるよう調整していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0	帰ってきたらよい顔をしている
	23	事業所の支援に満足しているか	8	0	0	0	お風呂がとっても助かります。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 金沢ゆとり学園

対象人数(保護者)13人 回答者数 5人 回収 38.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	2	1
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		5	
適切 な支 援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	5		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	1	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	2
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	1	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	2
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	5		
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	4	
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	5		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	5		
送 迎 対 応	⑲	送迎は正しく行われているか	5		
リ ハ ビ リ	⑳	リハビリは役に立っているか	5		
	㉑	今後やってほしいリハビリはあるか	2	2	1

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年9月

事業所名: 金沢ゆとり学園

保護者等数(児童数)17

回収数16

割合 94%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	0	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	2	0	4	冬場手足が冷たくなって帰ってくるので部屋が少し寒いです。	お子様の状態に合わせ温度管理や手足の保温を行います
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	1	0	0	利用してから間もなく本人の状態も変わりやすいので相談しながら計画の説明をお願いしたい	お子様の状態・ニーズに沿った計画をたて説明を行っていききたいと思います。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	1	0	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	0	4	11	コロナが終息したらクリスマス会のようなイベントで	感染症に注意しながら交流に機会を設けていきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	0	0	0	今後も定期的に面談をしていきたい	定期的な面談に加えお困りなことがあればその都度相談を行います。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	1	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5	1	4	コロナの影響で難しいと思います。	感染症に注意しながら交流に機会を設けていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	0	4	苦情を言ったことがないのでわかりません	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	0	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	0	0	1	スタッフの紹介の会報を出して欲しい	hugシステムの活動記録にて紹介をしていきたいと思いません。もう少しばらくお待ちください。
	14 個人情報に十分注意しているか	16	0	0	0		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	4	0	4	「防犯マニュアル」に関してはわかりません	今後、契約の際、詳しく説明を行いたいと思います。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	0	9	訓練をしているのかわかりません	月に1回年間予定表に沿って訓練を行っています。利用児全員が訓練を行えるよう調整していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	0	2		
	18 事業所の支援に満足しているか	16	0	0	0	いつも楽しい活動をしてくださってありがとうございます。	

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 金沢ゆとり学園

対象人数(保護者)17人 回答者数 8人 回収 47.1%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3	
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	8		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	1	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	2
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	1
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	8		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	4	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	5	1
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	8		
送迎 対応	⑲	送迎は正しく行われているか	8		
リハ ビリ	⑳	リハビリは役に立っているか	8		
	㉑	今後やってほしいリハビリはあるか	4	3	1

# 平成 30 年度 (2018 年度)

児童発達支援 保護者評価

放課後等デイサービス 保護者評価

事業所評価

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和元年9月1日

事業所名 : 金沢ゆとり学園

保護者等数(児童数)7

回収数7

割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0	1		こまめに片付けを行いペース確保に努めます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	0		引き続き募集を行います
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフ リー化や情報伝達等への配慮が適切になさ れているか	6	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	7	0	0	0		
適切 な支 援の 提 供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画*2が作 成されているか	7	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	7	0	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	7	0	0	0		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫さ れているか	6	0	0	1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか	0	0	0	5		外出先に児童が集まる場 を選び交流する機会を作 りたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	7	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援 の提供すべき支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支援 計画」を示しながら支援内容の説明がなされ たか	7	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング*4等)が行われているか	4	0	0	3		面談時等に詳しく話を ていきたいと思います。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができていますか	7	0	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	4	2	0	1		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	3	1	1	2		

保護者への説明等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	0	0	0	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	0	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	0	0	1	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6	0	0	1	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	0	1	0	6	今後、契約の際、詳しく説明を行いたいと思います。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		1	0	6	月に1回年間予定表に沿って訓練を行っています。未用児全員が訓練を行えるよう調整していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	2	親は楽しみです。
	23	事業所の支援に満足しているか	7	0	0	0	お風呂がとっても助かります。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和元年9月1日

事業所名 : 金沢ゆとり学園

保護者等数(児童数) 15

回収数14

割合 93%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2	0	0	少し狭い	こまめに片付けを行いスペース確保に努めます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	0	0	0	PTが増員されると嬉しいです。	引き続き募集を行います。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	0	3		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	0	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	0	天気の良い日に外に出られるのが嬉しいです。	季節感のある活動を準備します。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	2	10	・他の子どもとの接触は望んでいません ・障害の無い子どもと交流できたらいいですね。	外出先に児童が集まる場所を選び交流する機会を作りたいと思います。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や課題について共通理解ができているか	14	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2	0	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	2	0	3		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	0	2	苦情を言ったことがないのでわかりません	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	0	1		
	14	個人情報に十分注意しているか	14	0	0	0		
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	2	0	3		今後、契約の際、詳しく説明を行いたいと思います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	3	0	6	訓練をしているのか知りません	月に1回年間予定表に沿って訓練を行っています。利用児全員が訓練を行えるよう調整していきます。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	14	0	0	0		

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和元年9月1日

事業所名 金沢ゆとり学園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			今後は、交流の機会を増やして行きたいとおもいます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		今後は、交流の機会を増やし積極的に参加していこうと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				